

大掃除は年末ではなく、秋の時期に行うのが最適!!

～環境科学の視点から大掃除の時期を分析～

- ◆ 株式会社エフシー総合研究所(東京都江東区/社長: 小櫃眞佐己)では、長年の日本の習慣として行っている年末の大掃除を、実は健康などの面から秋に行うのが最適であることを科学的に実証しました。このため、様々な機会をとらえて”秋の大掃除”を推奨してまいります(写真は、夏の終わった9月に一般家庭のダニやその死骸の数を分析するため、掃除機で吸い取っている様子)。
- ◆ アトピー性皮膚炎やぜんそくなどの原因となる、ダニやカビは高温で湿気の多い6～8月に増殖します。夏の終わりとともに、これらの原因物質は、死骸や乾燥した微粒子となり、ほこりと一緒に室内空間に飛散し、ぜんそくの発作などを誘発することになります。
- ◆ 弊社の環境科学研究室では、病気の原因物質となるダニの死骸やふん、カビの胞子が家中に大量にたまる時期が、夏の終わった9月～10月であることを突き止めました。冬に入ると加湿器の多用などから結露が発生しやすくなり、ダニやカビが再繁殖することが早くなります。このことから、秋の時期に徹底した掃除が大切であると考察されます。
- ◆ 秋は気候の面からも、①秋雨によって大気中のチリが落ちる、②低温で乾燥した空気が大陸から運ばれ、爽やかな晴れ間が続く一などから、掃除には最適の季節です。具体的には、晴天の日の午前10時から午後2時までの間に、布団類を天日干しし、リビング・寝室など人の集まる場所を重点的に掃除します。
- ◆ ダニやカビの汚染源になりやすい、エアコンのフィルターはポリ袋に入れカビ取り剤で殺菌、洗浄すると、エアコンの吹き出しによってダニやカビの飛散を抑える効果があります。このほか、家具やテレビの裏側、ぬいぐるみなどは、入念に掃除する必要があります。
- ◆ エフシー総合研究所・環境科学研究室は、居住環境の中で健康被害を及ぼすカビ・微小昆虫類・ダニの研究を専門としています。空気清浄機の除菌性能評価など、環境改善商品の実用試験や文化財のカビ汚染対策についても取り組んでいます。環境科学研究室ウェブサイト
<http://www.fcg-r.co.jp/lab/environment/>

【お問い合わせ】 株式会社エフシー総合研究所
東京都江東区青海 1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー6F
☎ 03-6891-8501 広報担当 : 大島

エフシージー総合研究所について
(Fujisankei Communications Group Research Institute, Inc.)

弊社は、フジサンケイグループの調査・研究機関が統合され、1985年9月に誕生しました。企画開発部、暮らしの科学部、情報調査部、管理部の4セクションで構成されています。このうち、ユニークな理系の専門家集団である企画開発・暮らしの科学部門は「フジテレビ商品研究所」(通称)として、消費者・生活者の視点で生活・暮らしを科学・研究し、その成果を消費者、企業、メディアに発信し続けています。もう一つの柱である情報調査部門は、Fujisankei Communications Groupのメディアグループ機能を最大限に生かし、一般企業や各種団体の広報活動を支援するなど独自の企画で高い評価を得ています。

□情報調査部

会員制の広報勉強会「フジサンケイ広報フォーラム」を毎月1回、講師を招いて開催、会員相互の情報交換の機会も提供している。このほか、新人広報マン夏期講座、現役の記者らによる模擬記者会見が中心のメディアトレーニング、出前広報勉強会などを開催。2014年からは「大林宏・山本ヒロ子の広報塾」などの場を通じ、企業・団体・自治体などの要望に応じた出前講座を開講するオーダーメイド・サービスも実施している。

□企画開発部

書籍・パンフレット類の企画制作、各種商品の取扱説明書、タイアップ広告の制作などのほか、新聞や雑誌へ生活記事も発信。HPの制作、デジタルデータ・コンテンツの管理運用などデジタルメディア関連の業務にも携わり、食品表示作成システム「食品大目付そうけんくん」の開発・運営も行っている。

□暮らしの科学部

料理レシピの開発、化粧品の効果の測定から繊維、洗剤、日用品、家電製品の性能検査や品質管理まで「暮らしに関わるいろいろ」が専門。実験や調査で得た商品情報や暮らしの情報をテレビ番組で放映、新聞・雑誌に掲載するなど幅広く発信しており、一般企業からの多様な受託業務は消費者と企業を結ぶ架け橋の役割も果たしている。

会社概要

社名	株式会社エフシージー総合研究所
所在地	東京都江東区青海 1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー6F
設立	1985(昭和 60)年 9 月
代表取締役社長	小櫃眞佐己
株主	(株)フジ・メディア・ホールディングス、(株)産業経済新聞社
URL	http://www.fcg-r.co.jp/